



【図書館のさまざまなサービスの紹介】



春夏秋冬、季節を駆け抜ける **読書マラソンに挑戦しませんか！**

○ 祝日開館サービス→

平成23年度から始めました。まだまだ浸透していないようで、多くの方に満足頂くほど利用されていません。ご家族や友だちと祝日を図書館でお過ごし下さい。

○ **ブックコーティングサービス**→お手持ちの大切な本やお子さんの為に買った絵本を汚れから守ったり損傷を防ぐ為にコーティングします。(但し、有料。20cm 大で1冊30円：材料代です。)平成25年4月1日 から実施します。詳しくはカウンターで！.....

○ **リクエストサービス**→喜界町図書館にない本で、ぜひ読みたい本をリクエストすると図書館が購入します。(注：まれにリクエストに応えられない場合があります。)

○ **予約サービス**→読みたい本が貸出し中の時、返却された本を借りる事ができるよう予約できます。

○ **コピーサービス**→図書館内の資料のみサービスできます。(有料)

○ **相互貸借サービス**→喜界町図書館にない本を他の図書館から借りるサービス。(県立図書館・県立奄美図書館)

○ **開館時間**→AM10:00からPM6:00まで開館しております。仕事帰り等の御利用が可能です。

サービスをフルに生かして“生活の中に図書館を”！

はじまりの予感・・

・・・

季節はめぐり、春の足音がもうそこまで来ているように感じます。

ちまたでは、きびの刈り取りで大忙し、家族総出の手はさぎ、ハーベスターでの大掛かりな刈り取り、毎年同じ景色だが今年は台風や水不足の為例年にも増して不作だそうです。ふと空を見上げるといつもは見かけない優雅に空をまう鳥に気づきました。・・・知り合いの農家の人に尋ねるとはやぶさの一種で渡り鳥だとこの・・・と。自然と向き合っている人達はよく知っています。今の時期、数種類の渡り鳥が見られるそうです。早速、喜界島に・・・住む鳥を調べてみたいと思う。“世界で一番美しい島”の自然に・・・私たちも目を向けていきたいものです。

<蔵書紹介>

世界自然遺産候補の島・奄美から

『奄美の稀少生物ガイドⅠ (植物・哺乳類・節足動物ほか)』新刊

『奄美の稀少生物ガイドⅡ (鳥類・爬虫類・両性類・ほか)』新刊

原色新鳥類検索図鑑 等 多数。

<お願い> 喜界島に住む生き物 (鳥・蝶・動物・虫・植物等)の写真・資料などお持ちの方は図書館に資料提供していただけないでしょうか。



くおはなし会：短大のお姉ちゃんと指遊び、子ども達は大喜び！>

○ お話し会：毎週土曜日
午後2時から45分程度

【4月のミニ映画予定】

6日 ともだちや

13日 みんないちばん！

20日 できたかな？あんせんかくにん

27日 盲導犬クイルの一生

図書館カレンダー (4月)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

・・・

※ は休館日です。

・開館時間 午前10:00 ～ 午後6:00

・休館日 月曜日、毎月第1木曜日

《趣味と読書》完～ 映画 ～

「東京物語」世界一に（2012年8月4日付け毎日新聞）——英国映画協会発行の「サイト・アンド・サウンド」誌が2日までに発表した、世界の映画監督358人が投票で決める最も優れた映画に小津安二郎監督の「東京物語」（1953年）が選ばれた。……同誌は小津監督が同作品で「その技術を完璧の域に高め、家族と時間の喪失に関する非常に普遍的な映画をつくり上げた」と評価した。——と書いてありました。

ところで、今、山田洋次監督50周年記念作品「東京家族」（松竹）が日本中で反響を呼んでいます。「東京家族」は「東京物語」（あらすじ：笠智衆・東山千栄子演じる老夫婦が故郷の尾道から20年ぶりに上京する。医院を経営する長男、美容院を営む長女を訪ねるが、それぞれに自分の生活を守るのに精一杯で親身な温かい持てなしはできない。罪滅ぼしに熱海へ温泉旅行に行かせる。戦死した次男の嫁の紀子（原節子）だけが二人に優しい心遣いをする。それでも夫婦は満足して尾道へ帰っていく。間もなく妻は脳溢血で倒れて死んでしまう。……）の**改作版**です。

「東京家族」は、橋爪功・吉行和子、妻夫木聡、蒼井優等が主演し、瀬戸内海の大崎上島・東京・横浜が舞台。当初、2011年に完成予定でしたが、3月11日の東日本大震災で延期になり、時代背景を震災後の「2012年5月」に設定。現在の日本・家族を描く感動作です。最後に「この作品を小津安二郎監督に捧げる」という字幕が出てきます。また、主演の吉行和子が着ている大島紬、舞台となっている瀬戸内海の大崎上島——これらは山田洋次監督が「男はつらいよ」シリーズ最終作「寅次郎紅の花」（1995年）の撮影以来、通い続けている瀬戸内町・加計呂麻島への愛着を連想させます。

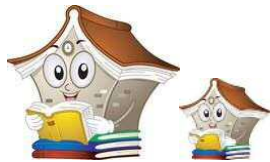
原節子（1920.6.17～）の好きなものは、「まず読書、次が泣くこと、その次がビール、それから怠けること」（貴田庄『原節子 あるがままに生きて』2010年、朝日文庫）。1963年12月12日、誕生日と同じ日に還暦で亡くなった小津安二郎監督、それと軌を一にするように42歳で忽然と銀幕と社会から姿を消して鎌倉でひっそりと暮らす原節子——その愛と人生は、伝説化しています。（文責・積山泰夫）



← 映画関係の本、
「東京物語」のDVDと
「東京家族」のパンフ
レット

弥生・春の足音が……

庭の花・野の花がいっせいに咲き出し、春の到来を感じる今日この頃です。児童・生徒の皆さん、ご卒業おめでとうございます。4月からの新しい生活の中でも、感動に満ちた本との出会いがありますように！



【新着図書】

【おとなの本】

- 一 路（上・下） 浅田 次郎 著 中央公論社
- ドンナビアンカ 菅田 哲也 著 新潮社
- 隠された刻（とき） 坂東 眞砂子 著 新潮社
- 娘が学校に行きません ー親子で迷った198日間ー
野原 宏子 著 メディアファクトリー
- 日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか
竹田 垣泰 著 PHP研究所

【郷土の本】

- 奄美諸島の砂糖政策と倒幕資金
先田 光演 著 南方新社
- フィールドワークの戦後史ー宮本常一と九学会連合ー
坂野 徹 著 吉川弘文館



【子どもの本】



- 体育館の日曜日 村上 しいこ 著 講談社
- こぎつねいちねんせい 斎藤 洋 著 あかね書房
- すてきな曲芸師アンジェロ クエンティン・ブレイク 絵
- どろんこ！どろんこ！ むらかみ やすなり 絵
- クモの巣図鑑 新海 明 著 偕成社